

個性を生かす

市島中学校 三年 井上 洸介

人の顔を見てケラケラ笑う。人の顔を指をさしてケラケラ笑う。

僕の弟は、ほほ骨が出て、目の下の骨も出て、その骨が邪魔して、おしゃべりが少し苦手。指定難病にもならない、世界でも症例の少ない病気だそうだ。

顔の骨が出っばり、少し人よりあごの骨も出ている。弟は、よく顔をジロジロ見られ、同年代ぐらいのまったく知らない子には、指をさされて笑われたこともあった。

顔だけだ。顔が少し大きいだけだ。この病気のせいで、歯もはえそろっていない。神戸の大きな病院で手術も2回した。春休み、夏休み、冬休みには、嫌な検査もたくさん受けている。病院の検査は疲れるだろうと、お母さんが前泊で神戸に連れて行ってくれる。

病院の前日には

「何かしたいことある？」

と、僕と弟のリクエストを聞いてくれる。動物園に行った事もある。

動物園のアトラクションの乗り物が乗りたかったので、チケットを買った。お母さんは乗らずに待っていた。乗ろうとした時、乗り物の係員さんが、お母さんに話しかけていた。

アトラクションの乗り物は楽しかった。降りてから

「何言われてたん？」

と、僕が聞くと、お母さんがイライラしながらも、弟に聞こえないように、

「お子さんは、おたふく風邪ですか？おたふく風邪なら乗るのはやめてほしいって言われたわ。」

と言った。顔が大きいだけだ。体は何も悪いところもない。毎日楽しく学校にも行っている。主治医から言われ、入団していたサッカーチームは辞め、大好きなサッカーは、遊びだけにしている。

弟は、本当は、サッカーをやりたいだろうと思う。でも、わがままも言わない。我慢してるなとも思う。店の中で指をさされても、ジロジロ見られても、笑われても、我慢している。とても明るい弟だ。ただ、顔が大きいだけ。とても優しく、動物大好き。家でも、猫のお世話もずいぶんはりきってやってくれる。

人の個性や体格…わざわざ笑う暇な人達。弟のことも、よく知らず笑う人達。残念な人だし、僕はいつもそんな人にならないと、生活している。

今は、コロナでマスク生活。マスクで顔がかくせる。心なしか、そんな生活を弟は、楽しんでいるようにも見える。

そのままでもいいんだよ。知らない人は、笑ってればいいんだよ。笑うような人は、よそで笑われているよ。個性を生かして、堂々とできる環境を僕が作ってあげるよ。毎日そう思って生活している。

来年の夏に、大きな手術が決まった。

いっぱい思いっきり、大好きなサッカーができるよう…

頑張れ！僕のかわいい弟よ！！